

絵のある病院



Okayama
Hakuaihakai
Hospital
Art

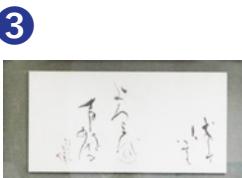
岡山博愛会病院

院内の絵画をご自由にご覧ください

※ 31 32 33 は職員専用通路にあるため
ご覧いただけません



「アメイジンググレイス」
島村 翠月



島村 翠月



「春暁」
立花 博



新第2回日展 特選作品
「潮だまり」
玉置 里美



「大きいカメ！」 「海風2016-1」
玉置 里美 立花 博



島村 翠月



「望郷
(ある漂流記より)」
立花 博



「漂流記
(航海灯など)」
立花 博



「晩夏」
玉置 里美



「ミノカサゴ」
玉置 里美



「ペンギン」
玉置 里美



「五月雨」
玉置 里美



「実芭蕉」
玉置 里美

裏へ

玉置里美先生
インタビュー



「道標(みちしるべ)」
玉置 里美



「砂丘に咲く」
玉置 里美



「航海記(ペナント4)-1」
立花 博



岡本 肇



「積木の塔」
立花 博



「秋曲」
立花 博



「朱い布」
立花 博



「航海記(ペナント7)」
立花 博



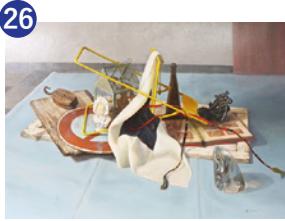
「漂流記(望遠鏡など)」
立花 博



「南風」
立花 博



「涛声」
立花 博



「漂流記(ガラスの鯨のいる)」
立花 博



「航海記'95-1」
立花 博



「南洋紀行('07-1)」
立花 博



「秋収」
立花 博



「航海記'95-3」
立花 博



「悠」
玉置 里美



「古代の記憶」
玉置 里美



「太古の記憶」
玉置 里美



「航海記(ペナント4)-2」
立花 博



「海の華」
玉置 里美



賀川 豊彦



「実る」
玉置 里美



「径(みち)」
玉置 里美



「紫陽花の頃」
玉置 里美



「渓流」
玉置 里美



森谷 秀男



「波の音」
玉置 里美



「南洋紀行」
立花 博



「或る航海記」
立花 博



「燈」
立花 博



永瀬 正己



永瀬 正己

Q. 日本画の魅力とは何でしょうか？

A. 日本画の魅力は何と言っても絵の具の美しさです。天然の岩絵具は岩石を碎いて細かい粒にしたものなので、言わば地球のかけらです。それを糊である膠(にかわ)と混ぜて画面上に重ねて制作します。膠は岩絵具の表面をあまりおおうことなく接着するため、光が散乱しやすい表面が作られ、落ち着いた色調に癒されます。

Q. 作品の岩絵具の凸凹が大きいのはなぜでしょうか？

A. 岩絵具は荒い粒子のものから細かい粒子のものまで一つの色が何段階にも分かれています。私は制作の最初に荒いものから細かいものまで混ぜて下地を作るので、その際に凹凸ができます。

Q. 海に関する作品が印象的ですが、モチーフに選ぶ理由などありますか？

A. 私は玉野市で生まれ育ちましたので子どもの頃から海は身近でした。また、父の趣味が釣りでしたので一緒に出かけては磯で遊んでおりました。海藻や貝殻を採集して名前を調べたり、潮だまりに残された小さな生き物たちを見つけたり、とても幸せな時間と沢山の恵みを海からいただいたと思っています。そういう自分の中に蓄積された体験や五感で感じたことを作品にしています。